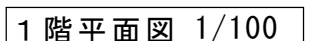
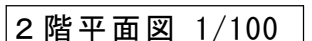
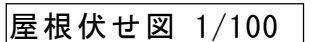
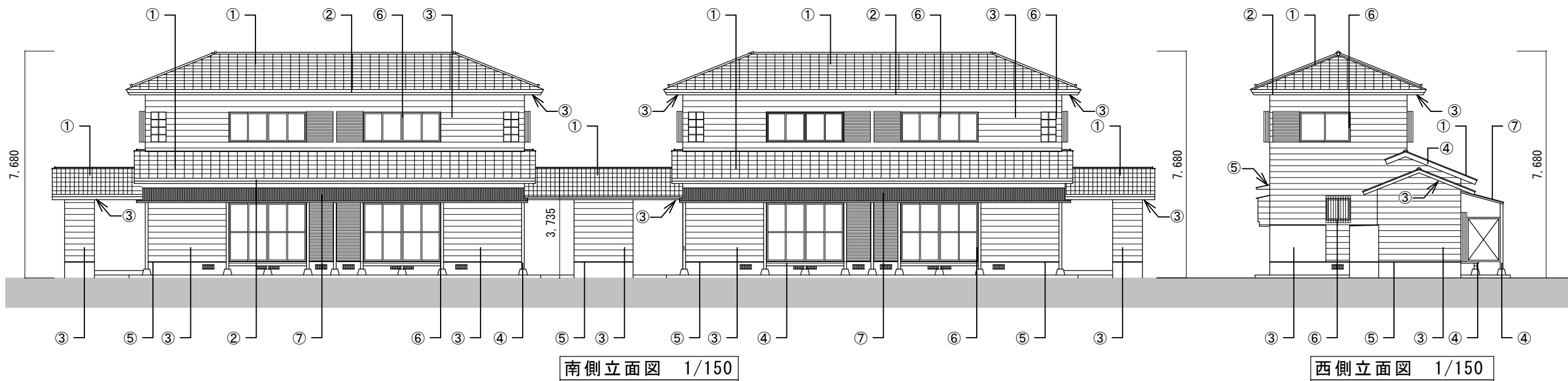




- ・高田団地公営住宅を図面のとおり改修するものである。
- ・本工事施工にあたっては、監督員並びに市営住宅管理者との打合せを充分に行い、入居者の生活に支障を及ぼすことのないようにするとともに安全対策に万全を期すこと。
- ・工事施工にあたっては、入居者に支障を及ぼすことのないよう仮設計画、工事計画を市営住宅管理者と十分に打合せすること。
- ・本図面に明記なくとも工事に伴い支障となる部材等は、一時撤去及び復旧等により現況の使用に支障をきたさないように対処する事。
- ・工事中に範囲外の部分を壊したりした場合は、請負金額内で原形復旧すること。
- ・その他詳細については図面ののとおりとするが、不明点は監督員の指示による。





凡例

① 屋根：高圧洗浄後アクリル樹脂塗装吹付	④ 木部：高圧洗浄後木材保護塗装	⑦ テラス屋根張替 ポリカ波板0.7mm	特記事項 ※テラス柱劣化部分は補修をすること。 ※基礎巾木劣化部分はモルタル補修すること。 ※瓦破損部分は取替を行うこと
② 樋：軒樋(半丸120)及び竖樋(75φカー)取替 集水器・掴み金物SUS製含む	⑤ 鉄部：ウレタン樹脂塗装(ケレン・錆止め共)		
③ 外壁・軒裏：高圧洗浄後シリコン樹脂塗装	⑥ 建具取り合い部シーリング打ち替え		

南 九 州 市 役 所		縮尺 1/150	工事名称 高田団地公営住宅屋根及び外壁改修工事	2/2
鹿児島県南九州市知覧町郡6204番地 都市政策課 Tel.0993-83-2511 Fax.0993-83-1955		設計年月日 R7.8	図面名称 立面図	

改修工事等特記事項並びに説明事項

- 1 本工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書」及び「建築工事標準仕様書」（各最新版）を適用し、「建設業法」「建築基準法」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などの各法令を遵守すること。
- 2 閲覧書に添付してある金抜設計書は、参考資料として取り扱うこと。
- 3 設計図書の優先順位は下記のとおりとする。
 - ①閲覧書並びに改修工事特記事項並びに説明書
 - ②現場指示事項
 - ③設計図
 - ④標準仕様書
- 4 着工に先立ち、施工計画書、工程計画書などを作成し、速やかに監督職員の承認を得ること。
- 5 設計図書に記載された建築材料などについては、記載されたもの又は同等品以上とし承認を得る場合には必要書類を作成して監督職員へ提出すること。
- 6 原寸図、施工図、承認図等は、施工前に監督職員に提出し承認を得ること。
- 7 仕上げ材料、設備機器類並びに色彩等の承認決定については、現品又は見本等を提出し監督職員の承認決定を得ること。見本等の数については、監督職員の指示に依る。
- 8 図面と仕様書との記載内容の相違、又は明記のない場合など疑義が生じた場合は監督職員、請負者双方協議の上決定する。
- 9 設計書に明記がなく施工上必要と思われること、又、現場の納まり、取合い等で工法を変更しようとする場合は監督職員と十分な協議の上決定し、請負者の負担にて施工すること。又、それに伴う工期の延長は行わない。
- 10 工事施工上必要な諸官公署への手続きは速やかに行い、要する費用は請負者負担とする。
- 11 工事の保証について、防水工事においては、屋根、外壁ともに10年間、防腐防蟻処理は5年間、設備機器類などは1年間以上とし保証書を請負者、施工者連名にて提出すること。
- 12 工事中に汚染や損傷等のおそれのある材料や箇所は入念な養生を行い、又、危険物などを取り扱う場合は十分注意して施工し厳重に保管すること。
- 13 本工事の通行、運搬、工事施工にあつては、災害及び公害の防止に努め、施設利用者はもとより、地域住民の安全確保に万全を期すること。万一事故が生じた場合は請負者の負担にて良心的に責任を持って解決すること。
- 14 施設管理者への連絡を密にして工程管理はもとより、工事期間中の施設の管理運営がスムーズに行われるよう最善をつくすこと。

- 15 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については（2）、（4）、（5）の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の当初請負金額 4,500 万円未満であること

※設計変更により、兼任するそれぞれの工事の請負金額が 4,500 万円以上となった場合においては、受注者の都合により現場代理人を変更できるものとする。（現場代理人の負担軽減措置）その場合は、「現場代理人等選任（変更）通知書」により現場代理人の変更手続きを行うこと。

- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること

- (3) 兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲

- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと

- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること

- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれかに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと

- 16 契約、支払方法については、指名通知のほか市契約規則、市会計規則による。

- 17 諸物価及び労務費などの市場変動があっても請負金額の変更はしない。

- 18 工事完了後の敷地については、整地及び清掃すること。

- 19 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該ヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を施工計画書にて提出すること。

- 20 本工事については「週休2日」試行工事とし、発注方式としては受注者希望方式（受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組む方式）を基本とする。

- 21 本工事は、電子納品の対象とする。電子納品とは南九州市ホームページ掲載の「南九州市電子納品の手引き」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

- 22 電子納品の運用にあたっては「南九州市電子納品の手引き」に基づいておこなうものとする。